

「PFAS 問題（水汚染）を追って ー沖縄と多摩ー」講演会開催への賛同のお願い

沖縄で、2016 年に、嘉手納基地近くの北谷浄水場の水源の比謝川や嘉手納井戸群から高い濃度の PFOS（PFAS 有機フッ素化合物の一部）が検出されました。2020 年には、普天間基地から住宅街に大量の泡が放出され、それが PFOS を含む泡消火剤であることがわかり、その後も、航空自衛隊やその他の米軍基地周辺からも次々と基準値を超える PFAS が検出されています。

PFAS とは、PFOS、PFOA 等を含む有機フッ素化合物の総称です。1980 年前後の米国の研究で、発がん性、低体重出産、免疫力機能の低下など、人体への強い有毒性がわかっており、分解されづらい特性を持ち、水や土壌に蓄積されていくので、その影響は推し量れないものがあります。

沖縄で米軍基地由来の汚染が発覚した後に、神奈川県や東京多摩地区でも広範囲に汚染が広がっていることが、わかりました。

現在、東京都が取水を停止した井戸が、立川市、小平市、国分寺市、国立市、府中市、調布市、西東京市など 7 市の 11 の浄水施設の 34 本に上っています。全て米軍横田基地の東側を流れている地下水です。しかし、PFAS は多種多様の産業や産業製品に使われているので、汚染の原因は特定されていません。取水停止になったから、問題は終わりではありません。今、汚染の状況はどうなっているのか、今後どうなっていくのか、疑問は深まるばかりです。

沖縄と多摩の水汚染問題について考えてきた方々にお話しを聞き、考える集いを開催します。PFAS 問題を多くの人に広く知っていただくために、ぜひ、講演会開催に賛同とご参加をお願いいたします。

PFAS 汚染問題を考える会

(辺野古問題を考える小平市民の会、小平・環境の会、「語やびら沖縄」もあい練馬のメンバーが中心になっています)

日時：2023 年 3 月 25 日（土）18 時会場 18 時 15 分開会

場所：cocobunji プラザリオンホール A（駅ビル ミーツ国分寺 5 階）

お話しする人：諸永裕司（ジャーナリスト 『消された水汚染』著者）

明有希子（沖縄県宜野湾市緑ヶ丘保育園元父母会副会長）

根木山幸夫（多摩地域の有機フッ素化合物（PFAS）汚染を明らかにする会）

主催：PFAS 汚染問題を考える会

連絡先：marutake0530@gmail.com（武田） ☎：090-8311-6678（柏木）

賛同人・賛同団体になってください。

賛同団体・個人：1 口 1000 円（何口でも結構です）

振込口座：郵便振替：口座番号 00150-3-514947 小平・環境の会

通信欄に必ず「PFAS 講演会賛同金として」とご記入ください。

領収書

様

¥

賛同金として 個人 団体（どちらかに○） _____ 口 PFAS 汚染問題を考える会 2023 年 月 日
取扱者 印

キリトリ

賛同カンパ控え

●個人 氏名 (賛同金 口) 連絡先 () 氏名公表 (可・不可)

●団体 団体名 (賛同金 口) 連絡先 () 団体名公表 (可・不可)

代表者名

担当 ()